

平成29年度県別・中央官庁発注（分離・一括）状況  
及び過去5年の推移

平成30年10月18日

一般社団法人東北空調衛生工事業協会  
経営委員会・分離発注分科会

株式会社テクノ菱和  
大成温調株式会社  
三機工業株式会社

齋藤吉信  
石川信太郎  
平野健一

株式会社晃和工業  
北関東空調工業株式会社

千葉郁雄  
境 徳雄



資料（分離、一括物件発注のまとめ）

- 1) 平成29年度県別発注状況データー調査票
- 2) 各県別の一括・分離 比率変化のまとめ【件数及び金額】
- 3) 各県別の一括・分離 推移グラフ【件数及び金額】
- 4) 平成29年4月～平成30年3月 一括・分離物件 金額比率のまとめ
- 5) 平成29年4月～平成30年3月 一括・分離物件 内容比率のまとめ
- 6) 平成25年～平成29年 一括物件 金額別推移【件数及び金額】
- 7) 平成27年～平成29年 分離物件 金額別推移【件数及び金額】
- 8) 平成25年～平成29年 一括物件 内容別推移【件数及び金額】
- 9) 平成27年～平成29年 分離物件 内容別推移【件数及び金額】
- 10) 傾向及び総括

## 1) 平成 29 年度県別発注状況データー調査票

調査期間 平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

【調査目的】 中央・東北 6 県官公庁からの発注状況ならびに傾向の把握を目的とする。また下記資料を基にした過去 5 年における推移を検証する。

調査資料：東北ジャーナル（工事契約状況記載データー）

### 基本取得元データー採用基準

- ・一括工事においては 5,000（万）円未満を除く。
- ・分離発注については 1,000（万）円未満を除く。
- ・プラント工事については基本的に除外。
- ・学校付属の体育館においては基本的に対象外とする。しかしながら内容によってはデーターとして採用するか否かは分科会にて協議の上、決定する。
- ・一括発注データーについては、元データーを分科会委員で協議の上、決定し調査票に記載する。
- ・工事名で内容、設備の規模、金額等が判断し難いと思われる物件については担当委員との協議において採用の可否を決定する。（ex：耐震工事など）
- ・中央・地方自治体のデーターを基本とするが、今年度においても公益法人他の発注状況も金額を参考に協議し記載する。

（注） 上記条件でのデーターを纏めるにあたり、誤記を含め現状との相違がある場合は修正いたしますので、お手数ですが下記まで FAX またはメールにて、ご連絡のほど宜しくお願い致します。

送付先：経営委員会・分離発注分科会担当 ㈱テクノ菱和東北支店 齋藤 吉信

FAX：022-262-1442 E-Mail：[y\\_saitou@techno-ryowa.co.jp](mailto:y_saitou@techno-ryowa.co.jp)

### 【分離発注分科会担当委員】

千葉郁雄(晃和工業)・石川新太郎(大成温調)・境 徳雄(北関東空調工業)・平野健一(三機工業)

2) 各県別の一括・分離 比率変化のまとめ（平成25年～平成29年まで）

合併市町村（分離比率）【件数】

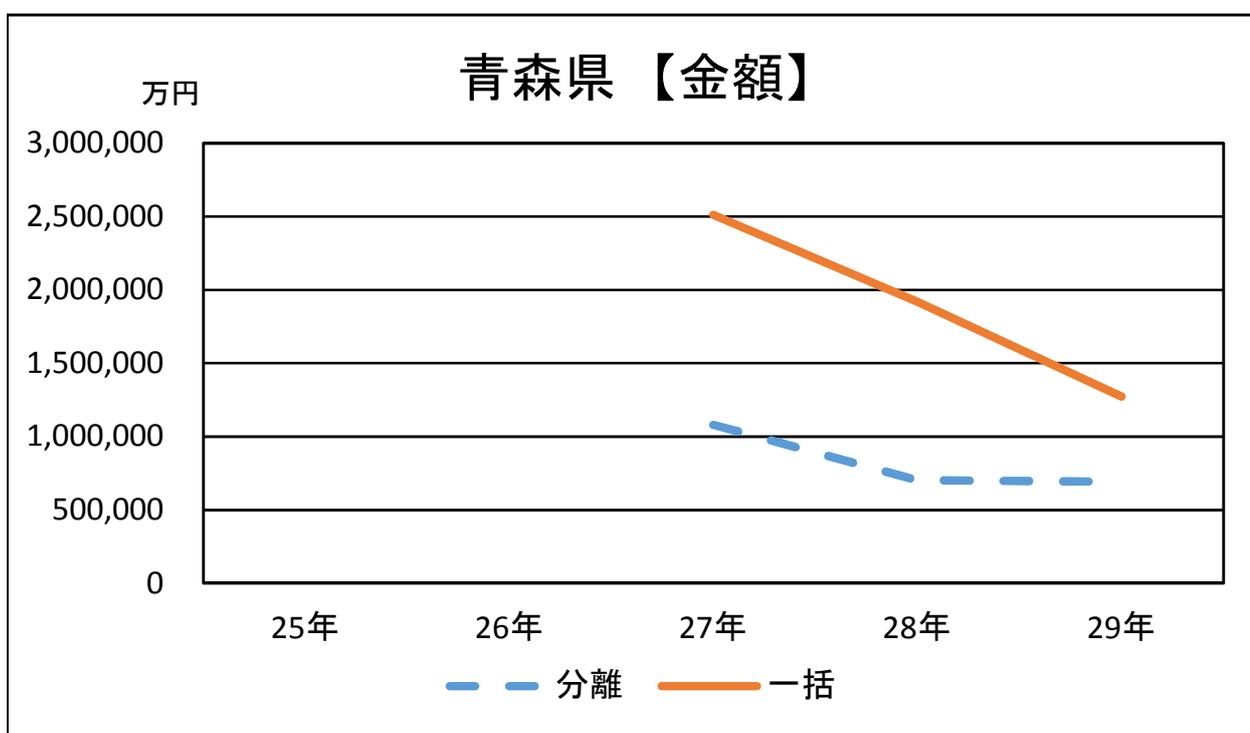
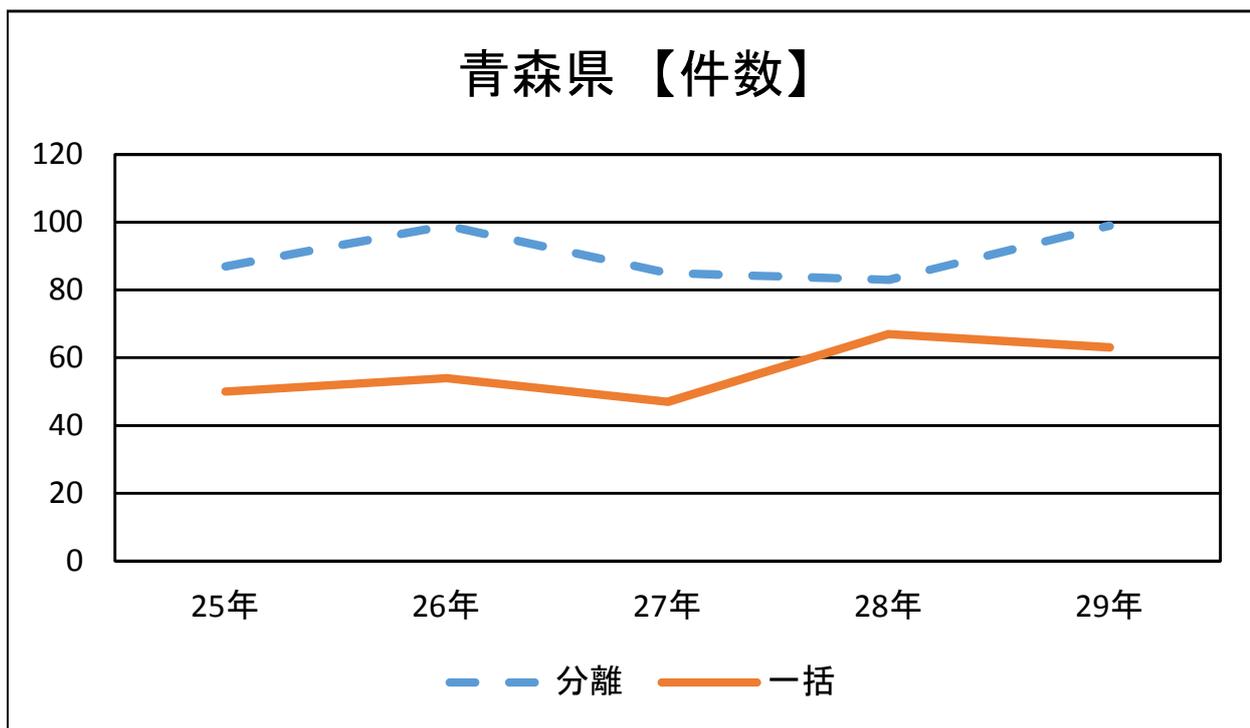
		25年	26年	27年	28年	29年
青森	分離	87	99	85	83	99
	一括	50	54	47	67	63
	分離比率	64%	65%	64%	55%	61%
秋田	分離	65	76	60	72	78
	一括	35	63	42	32	39
	分離比率	65%	55%	59%	69%	67%
岩手	分離	72	101	94	50	49
	一括	37	45	47	23	43
	分離比率	66%	69%	67%	68%	53%
宮城	分離	85	66	57	119	116
	一括	52	83	98	68	55
	分離比率	62%	44%	37%	64%	68%
山形	分離	37	36	25	51	54
	一括	15	38	31	30	33
	分離比率	71%	49%	45%	63%	62%
福島	分離	79	96	71	65	87
	一括	15	39	59	59	67
	分離比率	84%	71%	55%	52%	56%
中央	分離	52	32	33	35	38
	一括	3	1	18	15	19
	分離比率	95%	97%	65%	70%	67%
合計	分離	477	506	425	475	521
	一括	207	323	342	294	319
	分離比率	70%	61%	55%	62%	62%

合併市町村（分離比率）【金額】

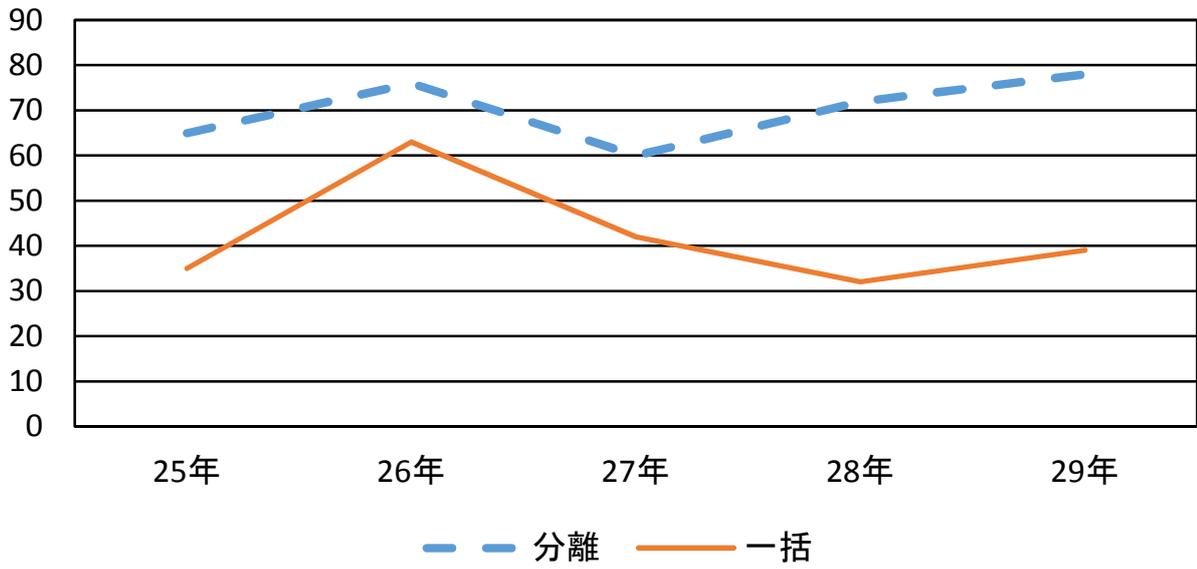
（単位：万円）

		25年	26年	27年	28年	29年
青森	分離			1,079,928	700,741	691,743
	一括			2,511,549	1,918,494	1,272,624
	分離比率			30%	27%	35%
秋田	分離			416,103	296,924	364,381
	一括			1,615,966	1,290,745	857,603
	分離比率			20%	19%	30%
岩手	分離			702,560	572,195	215,948
	一括			3,705,521	1,014,537	1,883,669
	分離比率			16%	36%	10%
宮城	分離			607,056	612,915	679,057
	一括			6,918,849	3,104,328	2,664,452
	分離比率			8%	16%	20%
山形	分離			171,618	848,375	383,107
	一括			1,009,997	672,852	931,097
	分離比率			15%	56%	29%
福島	分離			822,774	543,890	608,940
	一括			4,330,331	4,155,955	2,454,560
	分離比率			16%	12%	20%
中央	分離			324,146	891,999	273,670
	一括			976,645	682,468	1,215,178
	分離比率			25%	57%	18%
合計	分離			4,124,185	4,467,040	3,216,847
	一括			21,068,858	12,839,379	11,279,183
	分離比率			16%	26%	22%

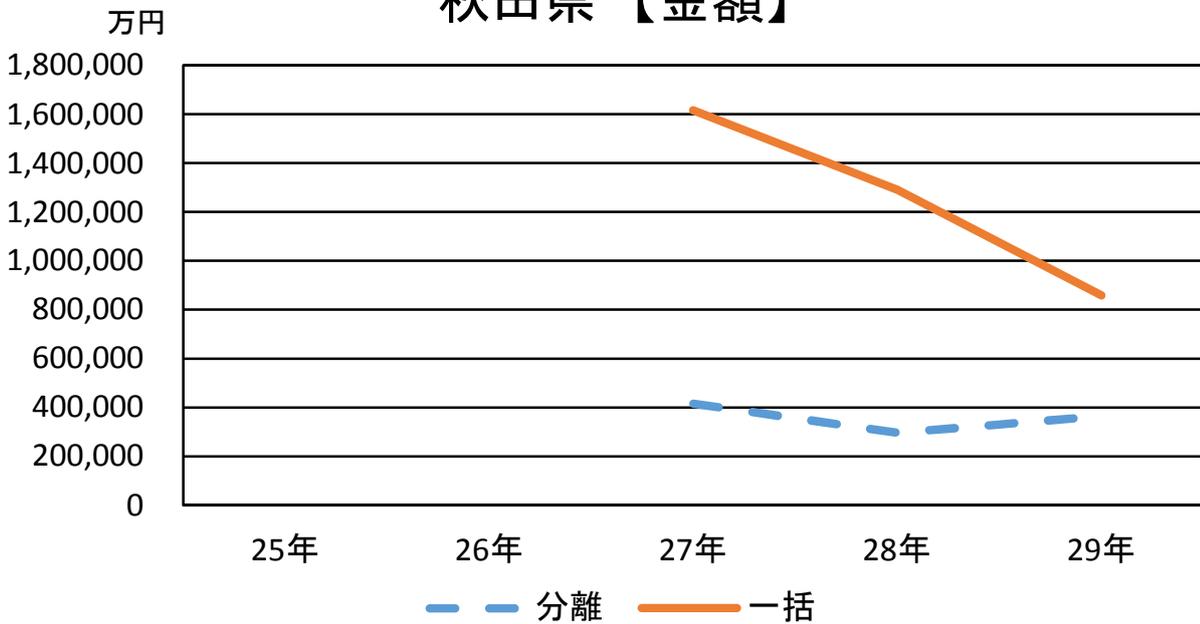
### 3) 各県別の一括・分離 推移グラフ



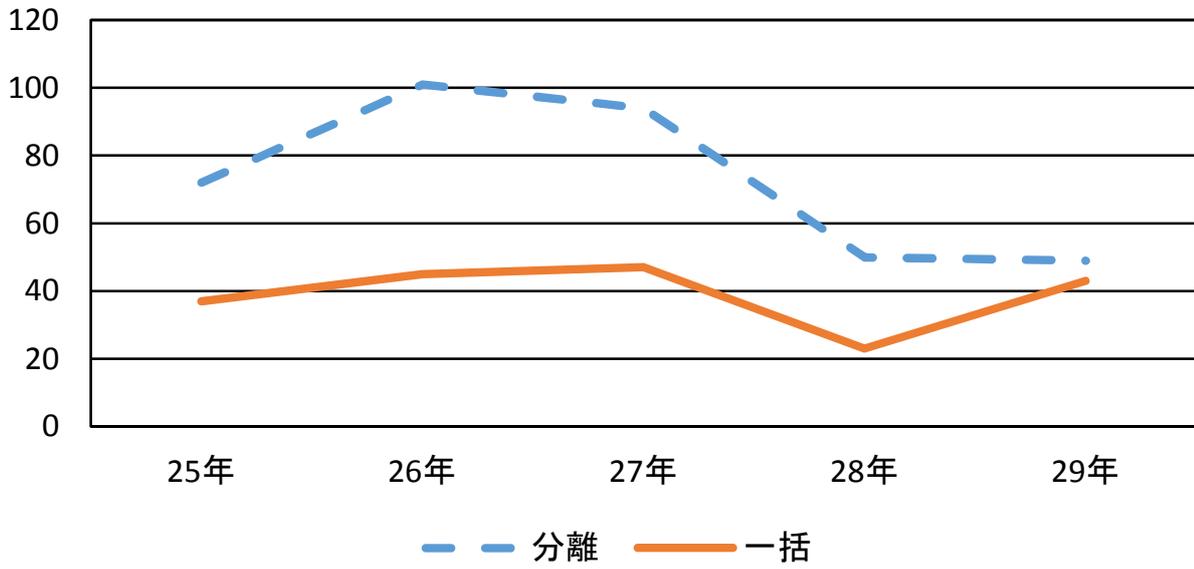
### 秋田県【件数】



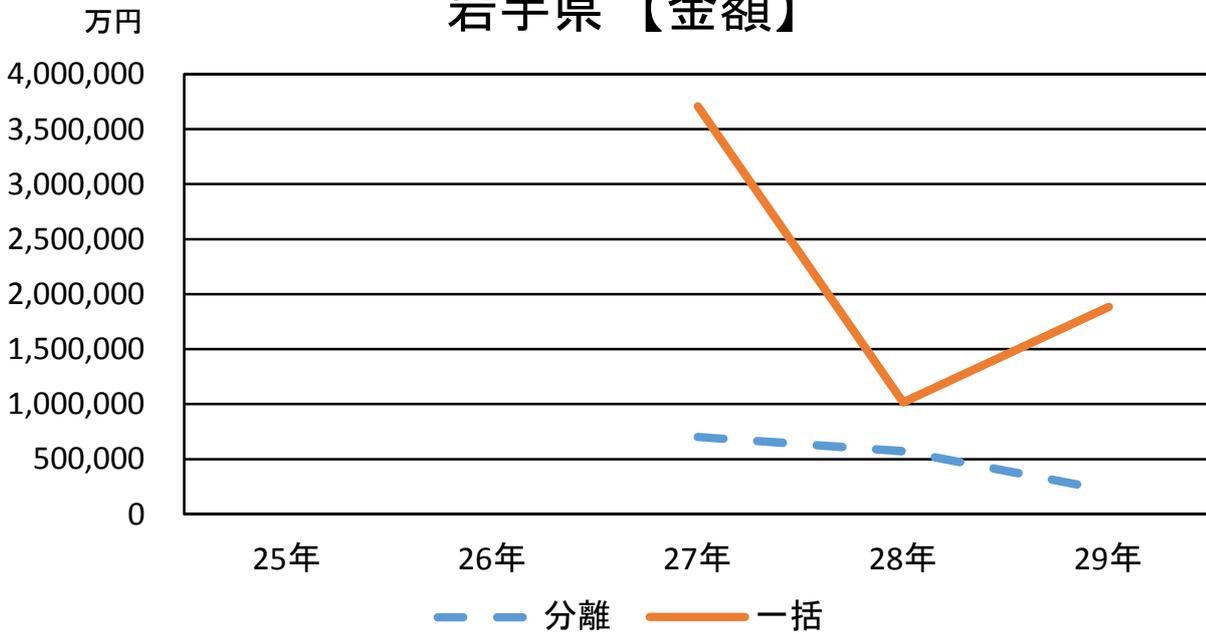
### 秋田県【金額】



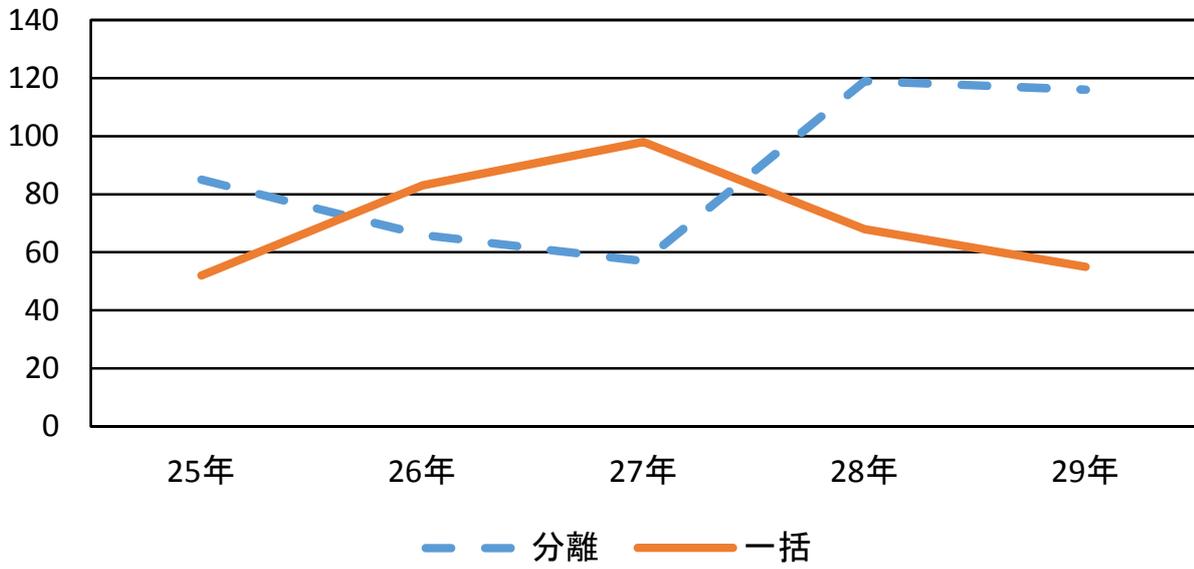
### 岩手県【件数】



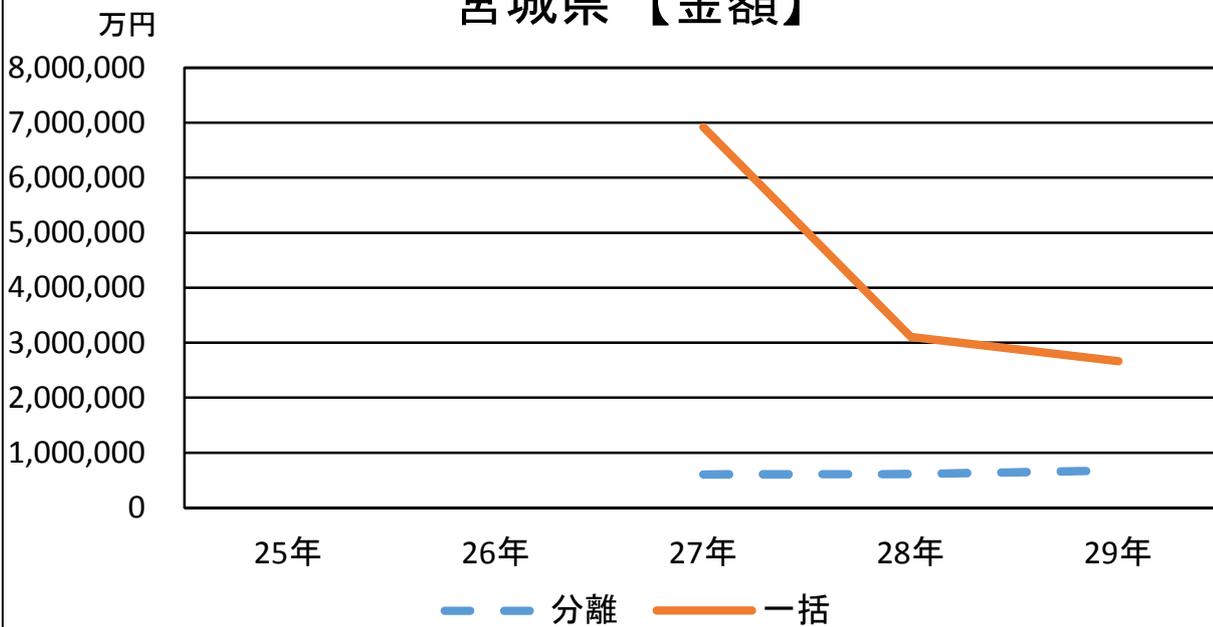
### 岩手県【金額】



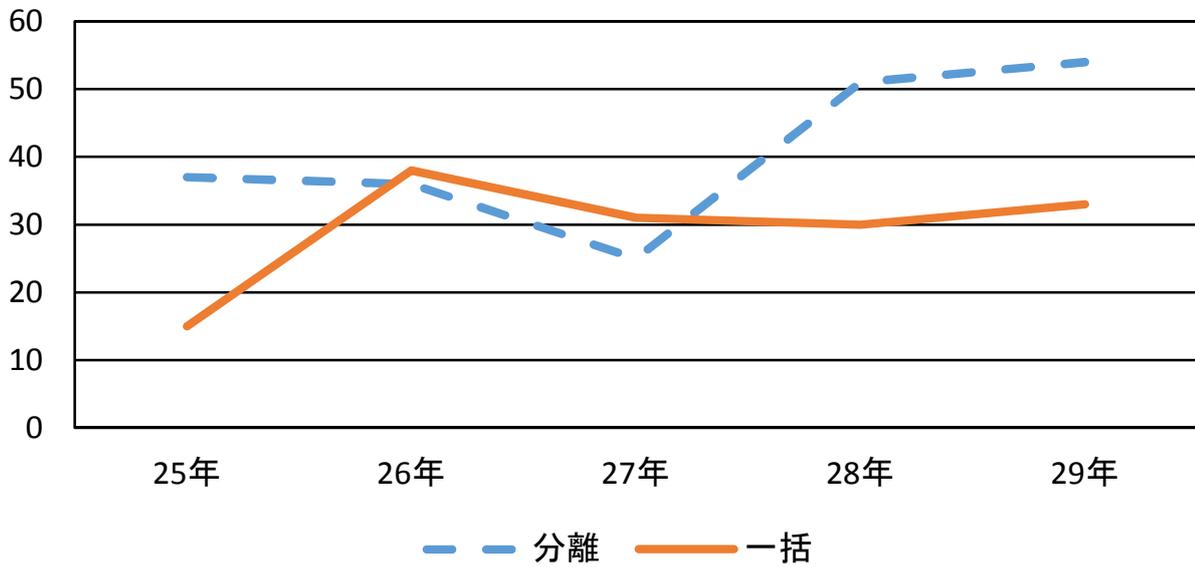
### 宮城県 【件数】



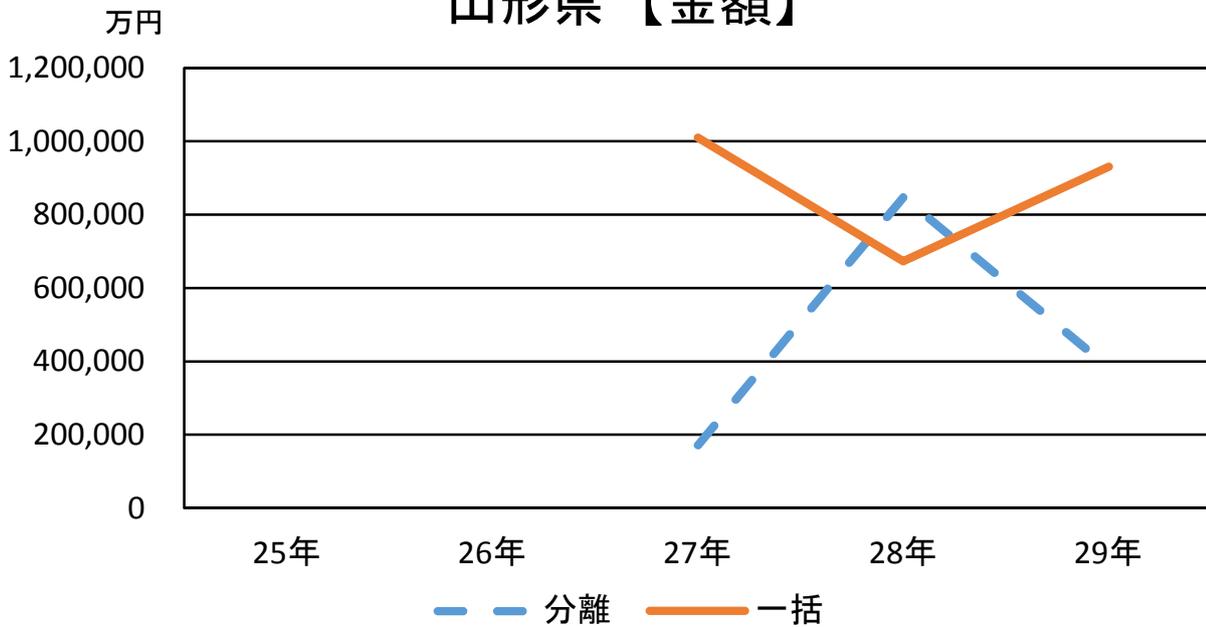
### 宮城県 【金額】



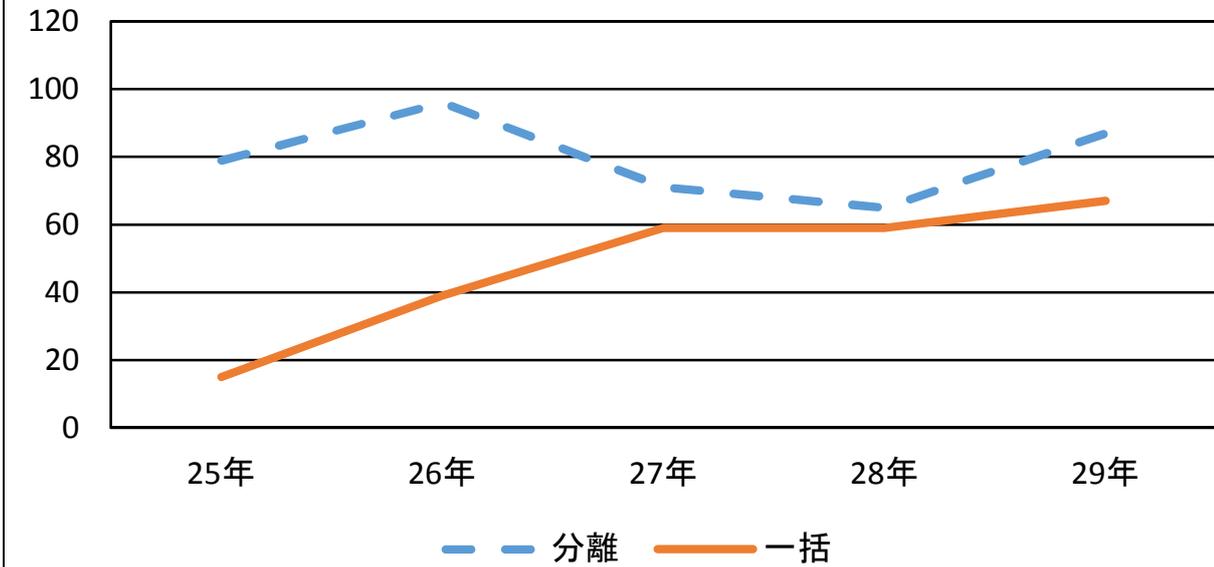
### 山形県 【件数】



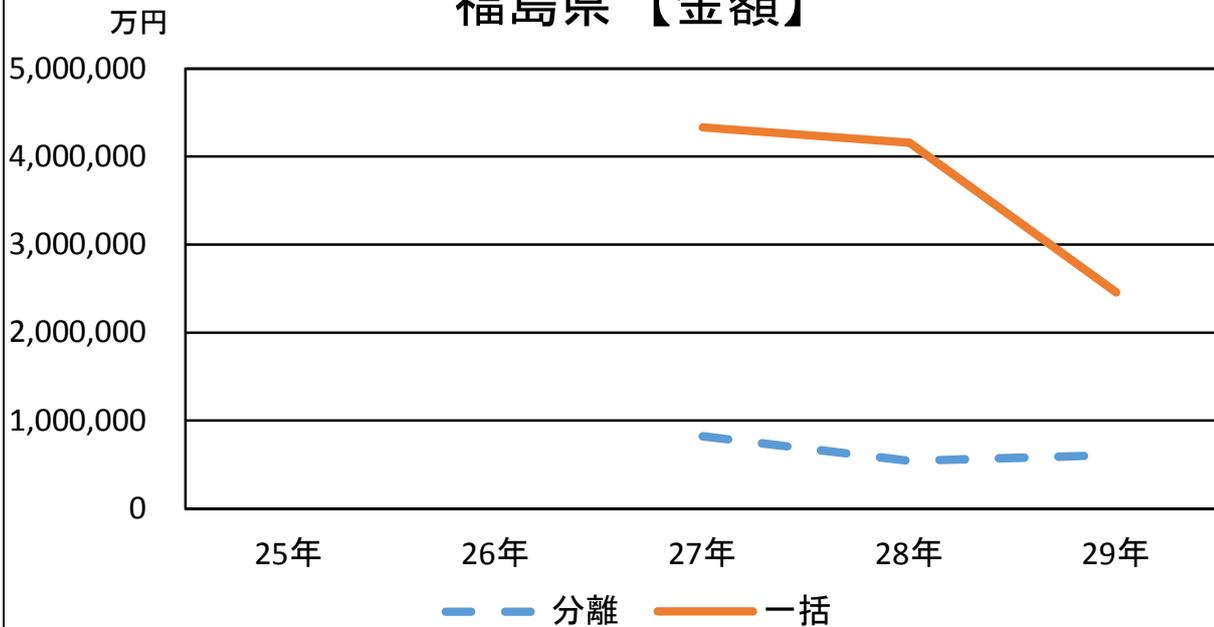
### 山形県 【金額】



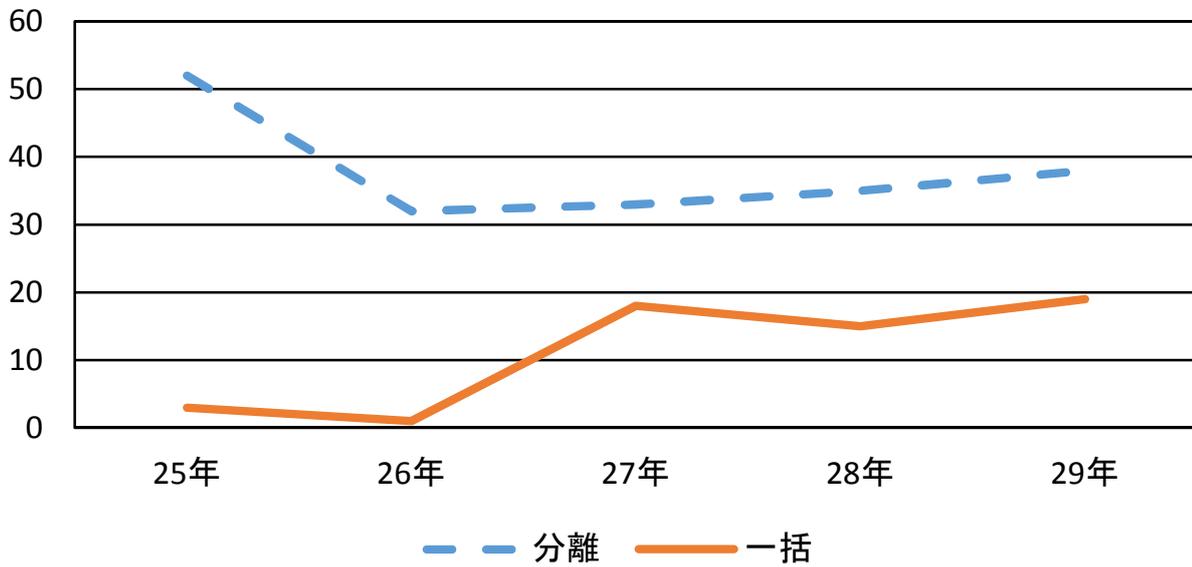
### 福島県【件数】



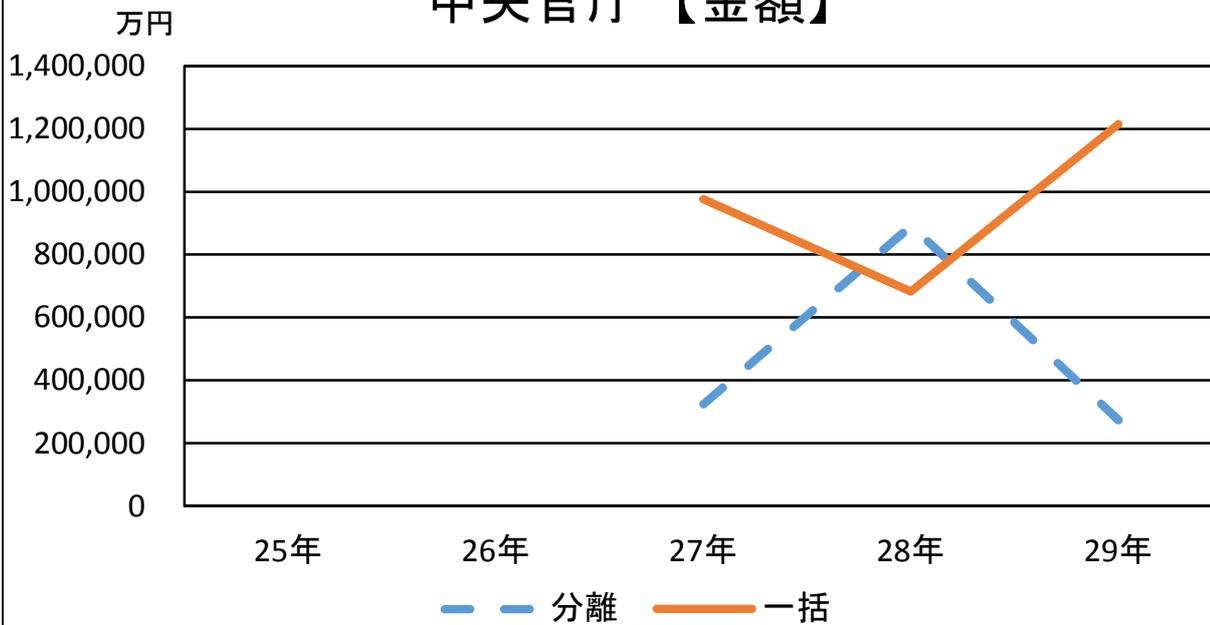
### 福島県【金額】



### 中央官庁【件数】

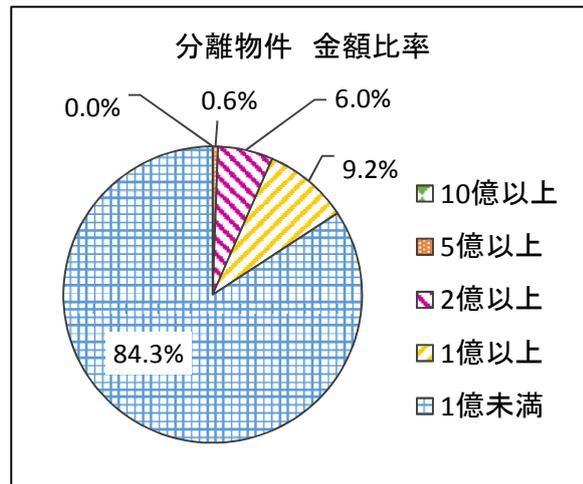
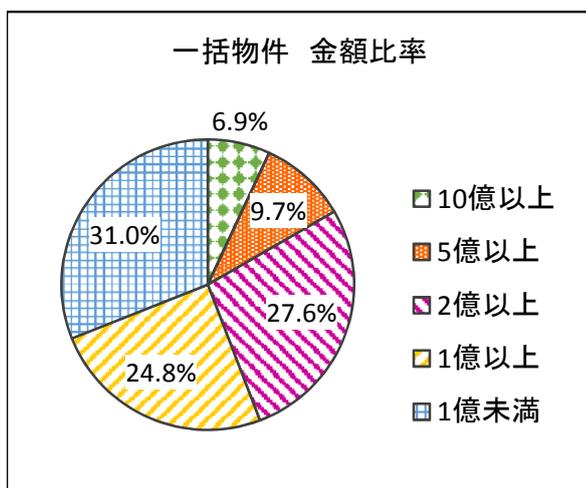


### 中央官庁【金額】



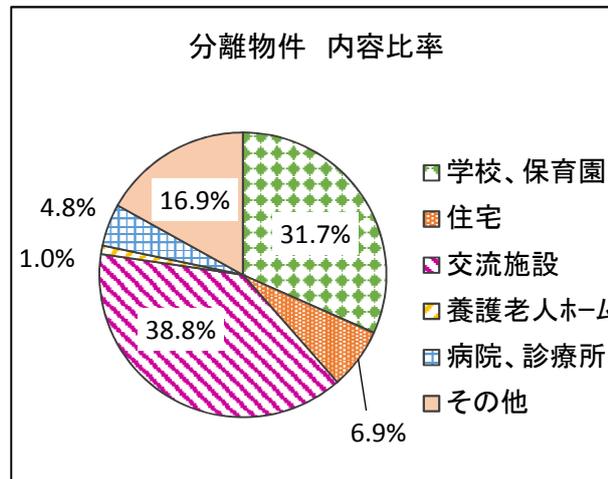
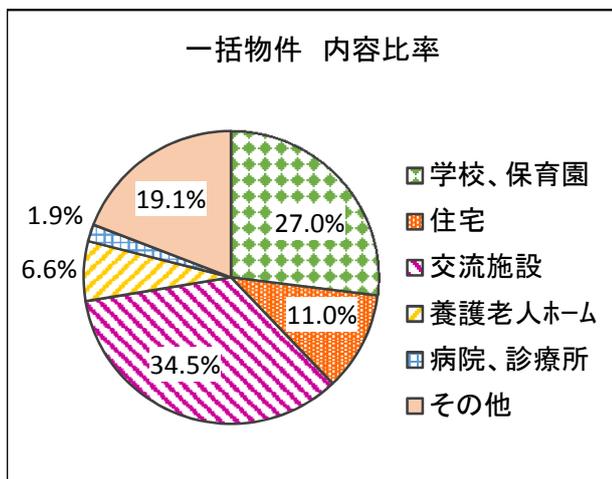
#### 4) 平成29年4月～平成30年3月 一括・分離物件 金額比率のまとめ

金額比率	一括件数	比率	分離件数	比率
10億以上	22	6.9%	0	0.0%
5億以上	31	9.7%	3	0.6%
2億以上	88	27.6%	31	6.0%
1億以上	79	24.8%	48	9.2%
1億未満	99	31.0%	439	84.3%
計	319	100%	521	100.0%



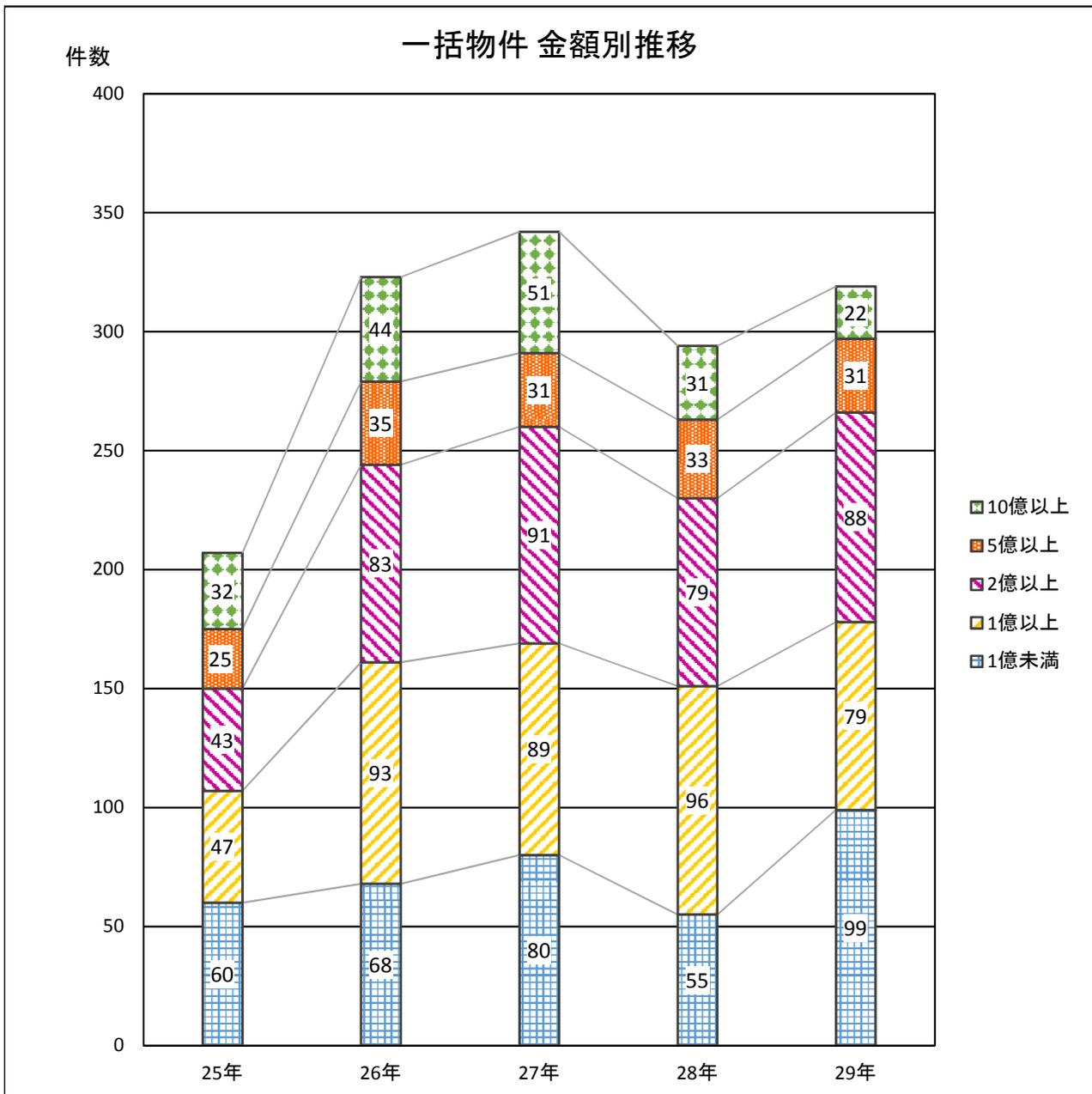
#### 5) 平成29年4月～平成30年3月 一括・分離物件 内容比率のまとめ

物件内容	一括件数	比率	分離件数	比率
学校、保育園	86	27.0%	165	31.7%
住宅	35	11.0%	36	6.9%
交流施設	110	34.5%	202	38.8%
養護老人ホーム	21	6.6%	5	1.0%
病院、診療所	6	1.9%	25	4.8%
その他	61	19.1%	88	16.9%
計	319	100%	521	100%



6) 平成25年～平成29年 一括物件 金額別推移 【件数】

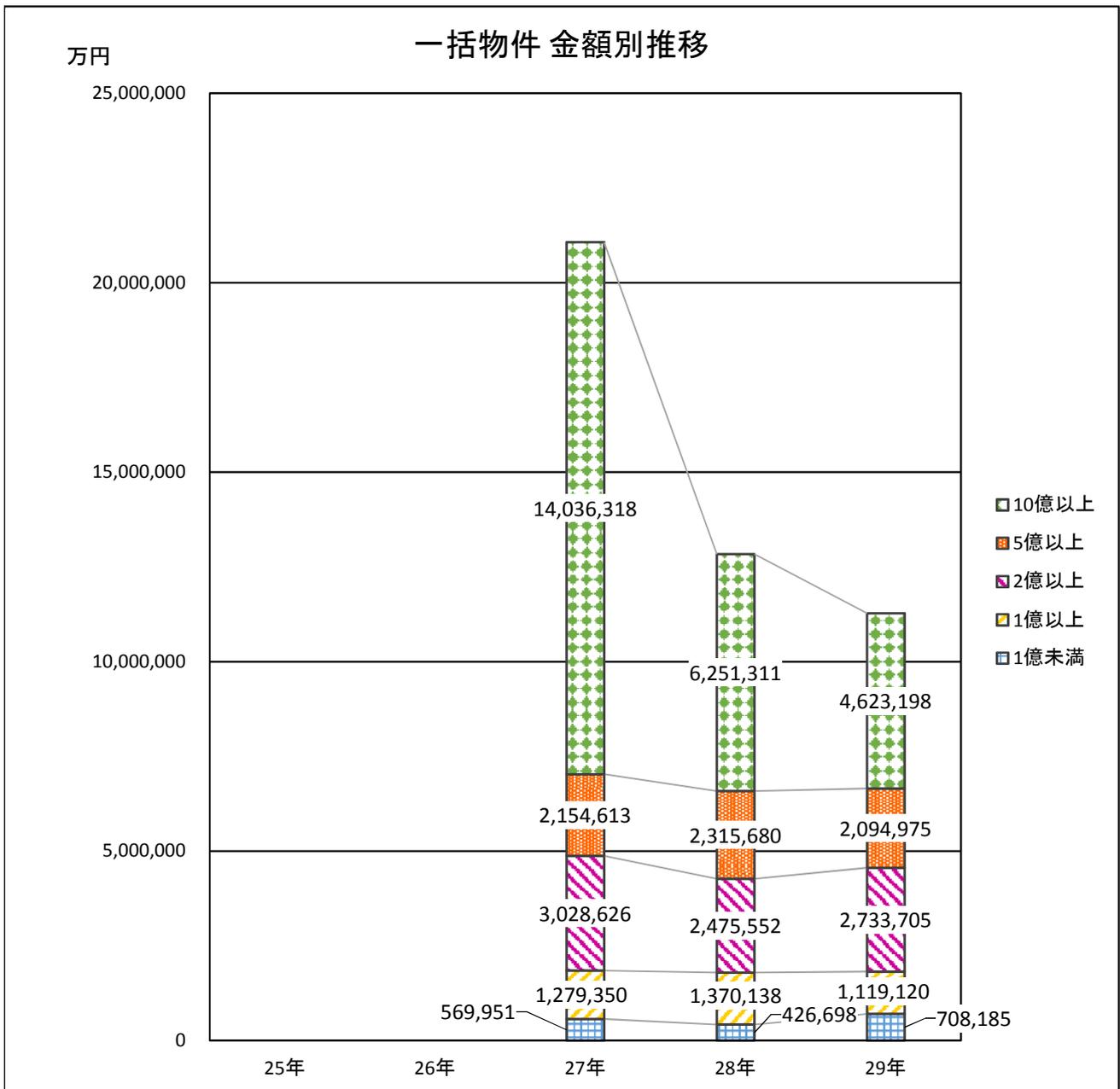
金額比率	25年		26年		27年		28年		29年	
	件数	比率								
10億以上	32	15.5%	44	15.0%	51	14.9%	31	10.5%	22	6.9%
5億以上	25	12.1%	35	11.9%	31	9.1%	33	11.2%	31	9.7%
2億以上	43	20.8%	83	28.2%	91	26.6%	79	26.9%	88	27.6%
1億以上	47	22.7%	93	31.6%	89	26.0%	96	32.7%	79	24.8%
1億未満	60	29.0%	68	23.1%	80	23.4%	55	18.7%	99	31.0%
計	207	100.0%	323	100.0%	342	100.0%	294	100.0%	319	100.0%



平成27年～平成29年 一括物件 金額別推移 【金額】

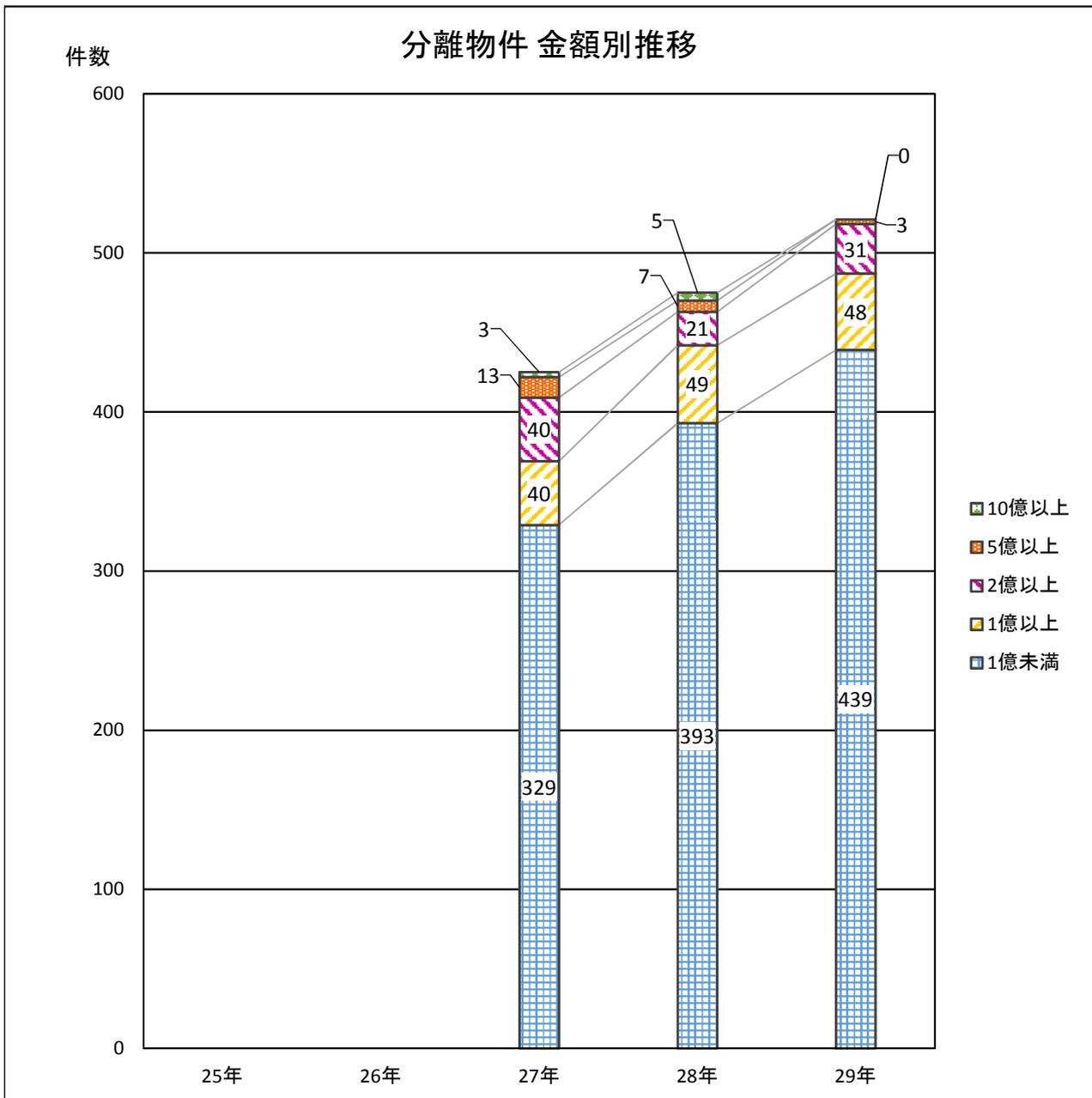
(単位:万円)

金額比率	25年		26年		27年		28年		29年	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率
10億以上					14,036,318	66.6%	6,251,311	48.7%	4,623,198	41.0%
5億以上					2,154,613	10.2%	2,315,680	18.0%	2,094,975	18.6%
2億以上					3,028,626	14.4%	2,475,552	19.3%	2,733,705	24.2%
1億以上					1,279,350	6.1%	1,370,138	10.7%	1,119,120	9.9%
1億未満					569,951	2.7%	426,698	3.3%	708,185	6.3%
計					21,068,858	100.0%	12,839,379	100.0%	11,279,183	100.0%



7) 平成27年～平成29年 分離物件 金額別推移 【件数】

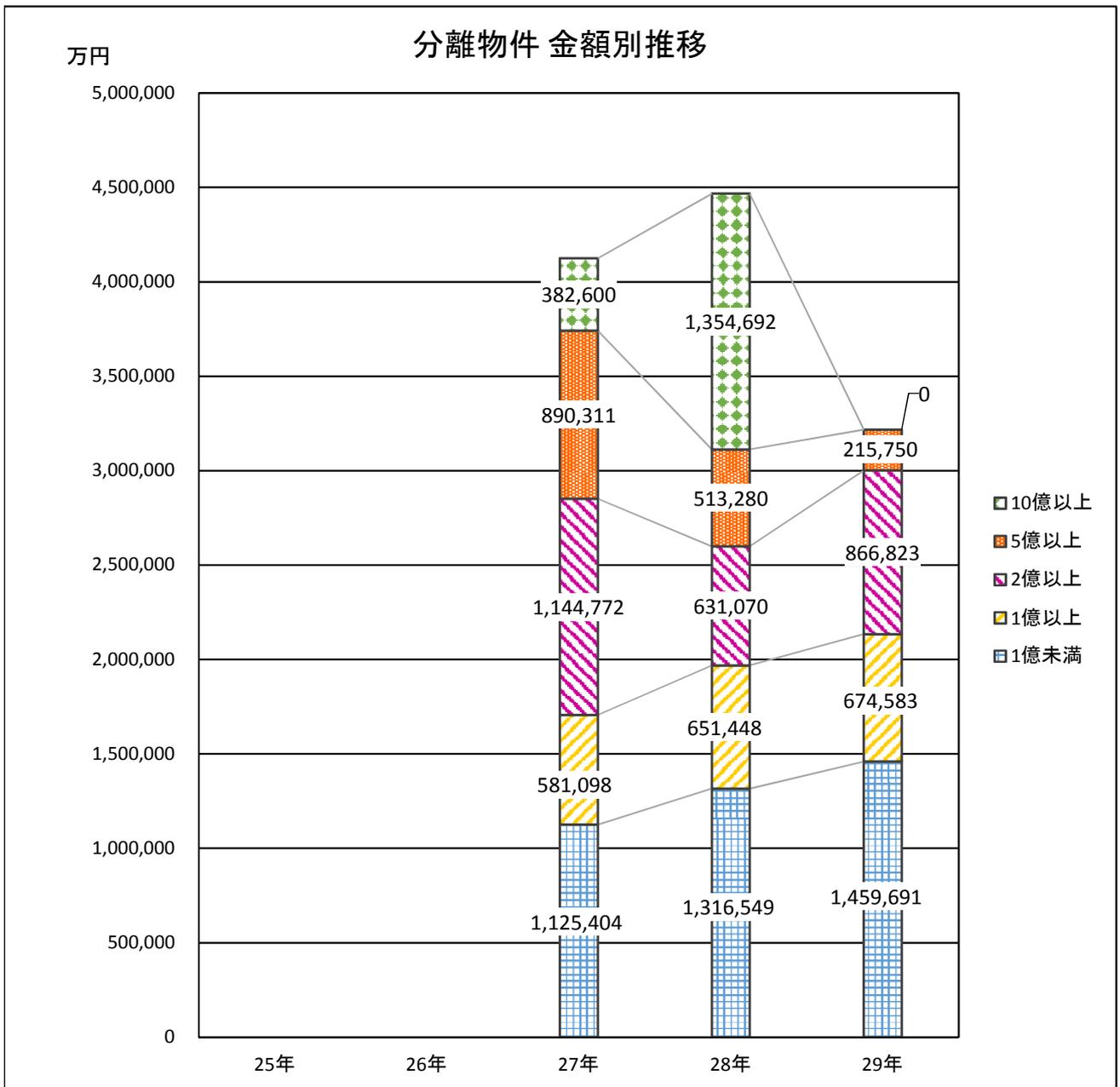
金額比率	25年		26年		27年		28年		29年	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率
10億以上					3	0.7%	5	1.1%	0	0.0%
5億以上					13	3.1%	7	1.5%	3	0.6%
2億以上					40	9.4%	21	4.4%	31	7.3%
1億以上					40	9.4%	49	10.3%	48	8.5%
1億未満					329	77.4%	393	82.7%	439	83.6%
計					425	100.0%	475	100.0%	521	100.0%



平成27年～平成29年 分離物件 金額別推移 【金額】

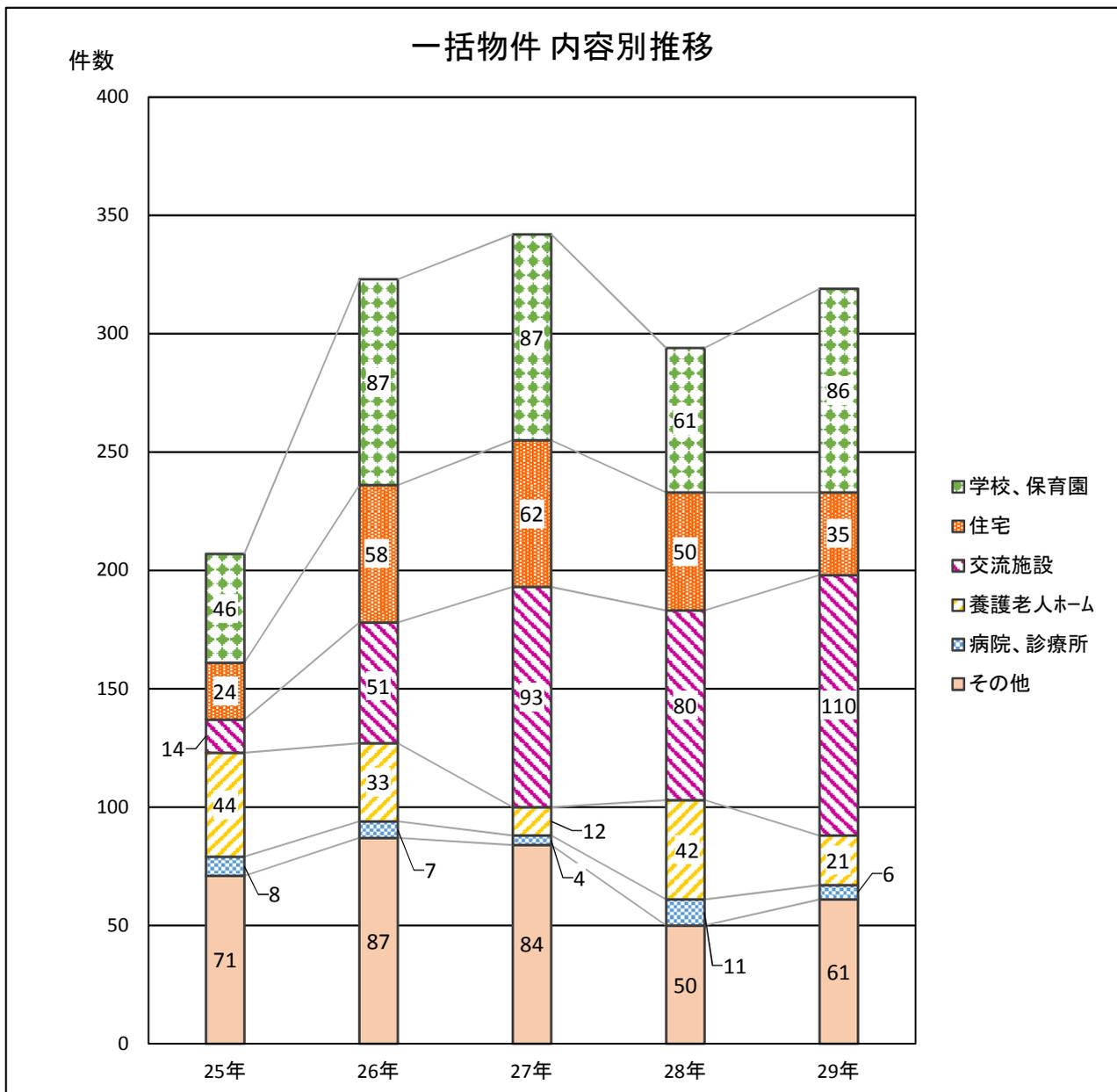
(単位:万円)

金額比率	25年		26年		27年		28年		29年	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率
10億以上					382,600	9.3%	1,354,692	30.3%	0	0.0%
5億以上					890,311	21.6%	513,280	11.5%	215,750	6.7%
2億以上					1,144,772	27.8%	631,070	14.1%	866,823	26.9%
1億以上					581,098	14.1%	651,448	14.6%	674,583	21.0%
1億未満					1,125,404	27.3%	1,316,549	29.5%	1,459,691	45.4%
計					4,124,185	100.0%	4,467,040	100.0%	3,216,847	100.0%



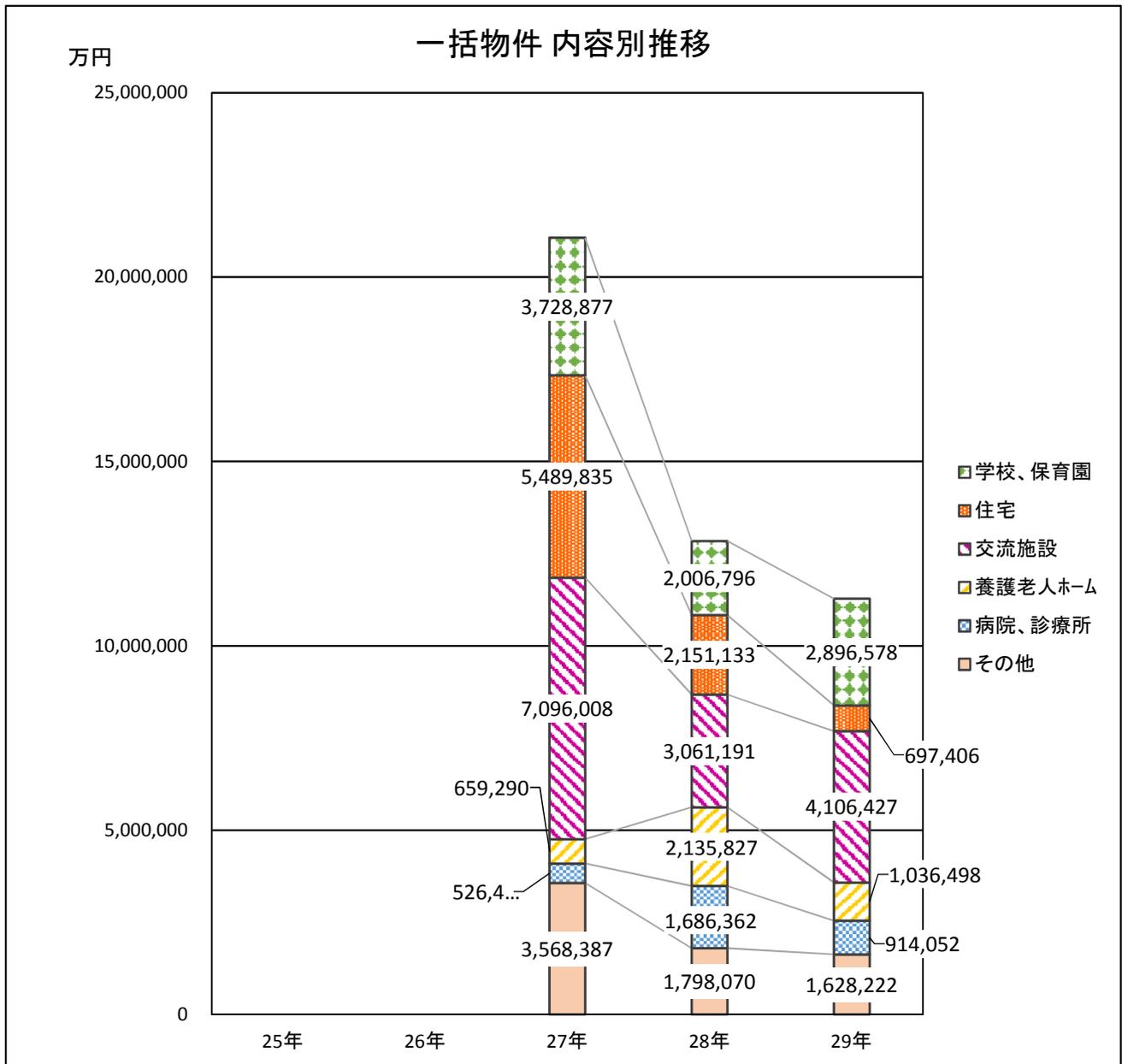
8) 平成25年～平成29年 一括物件 内容別推移 【件数】

物件内容	25年		26年		27年		28年		29年	
	件数	比率								
学校、保育園	46	22.2%	87	29.6%	87	25.4%	61	20.7%	86	27.0%
住宅	24	11.6%	58	19.7%	62	18.1%	50	17.0%	35	11.0%
交流施設	14	6.8%	51	17.3%	93	27.2%	80	27.2%	110	34.5%
養護老人ホーム	44	21.3%	33	11.2%	12	3.5%	42	14.3%	21	6.6%
病院、診療所	8	3.9%	7	2.4%	4	1.2%	11	3.7%	6	1.9%
その他	71	34.3%	87	29.6%	84	24.6%	50	17.0%	61	19.1%
計	207	100.0%	323	100.0%	342	100.0%	294	100.0%	319	100.0%



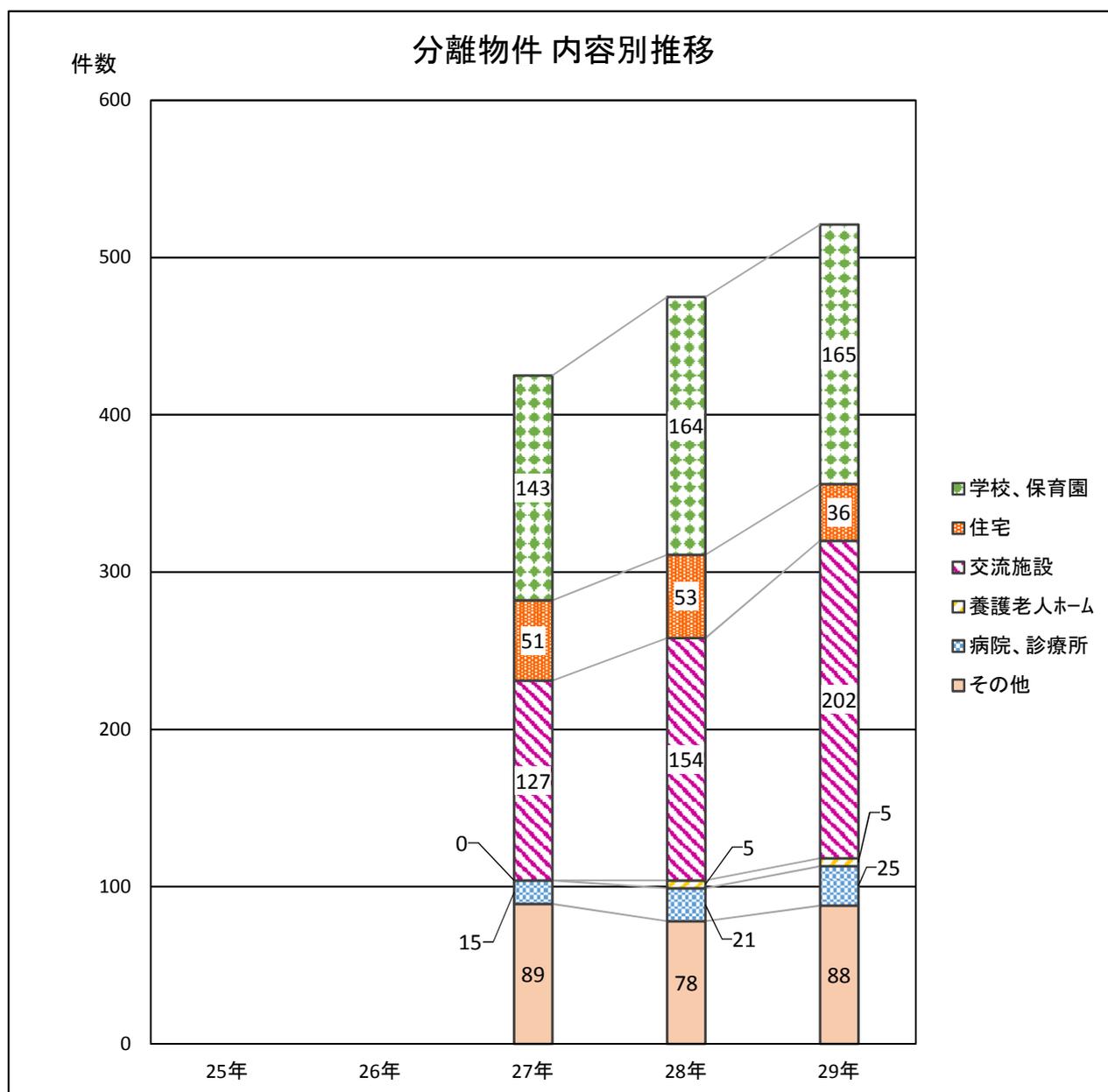
平成27年～平成29年 一括物件 内容別推移 【金額】

物件内容	25年		26年		27年		28年		29年	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率
学校、保育園					3,728,877	17.7%	2,006,796	15.6%	2,896,578	25.7%
住宅					5,489,835	26.1%	2,151,133	16.8%	697,406	6.2%
交流施設					7,096,008	33.7%	3,061,191	23.8%	4,106,427	36.4%
養護老人ホーム					659,290	3.1%	2,135,827	16.6%	1,036,498	9.2%
病院、診療所					526,460	2.5%	1,686,362	13.1%	914,052	8.1%
その他					3,568,387	16.9%	1,798,070	14.0%	1,628,222	14.4%
計					21,068,858	100.0%	12,839,379	100.0%	11,279,183	100.0%



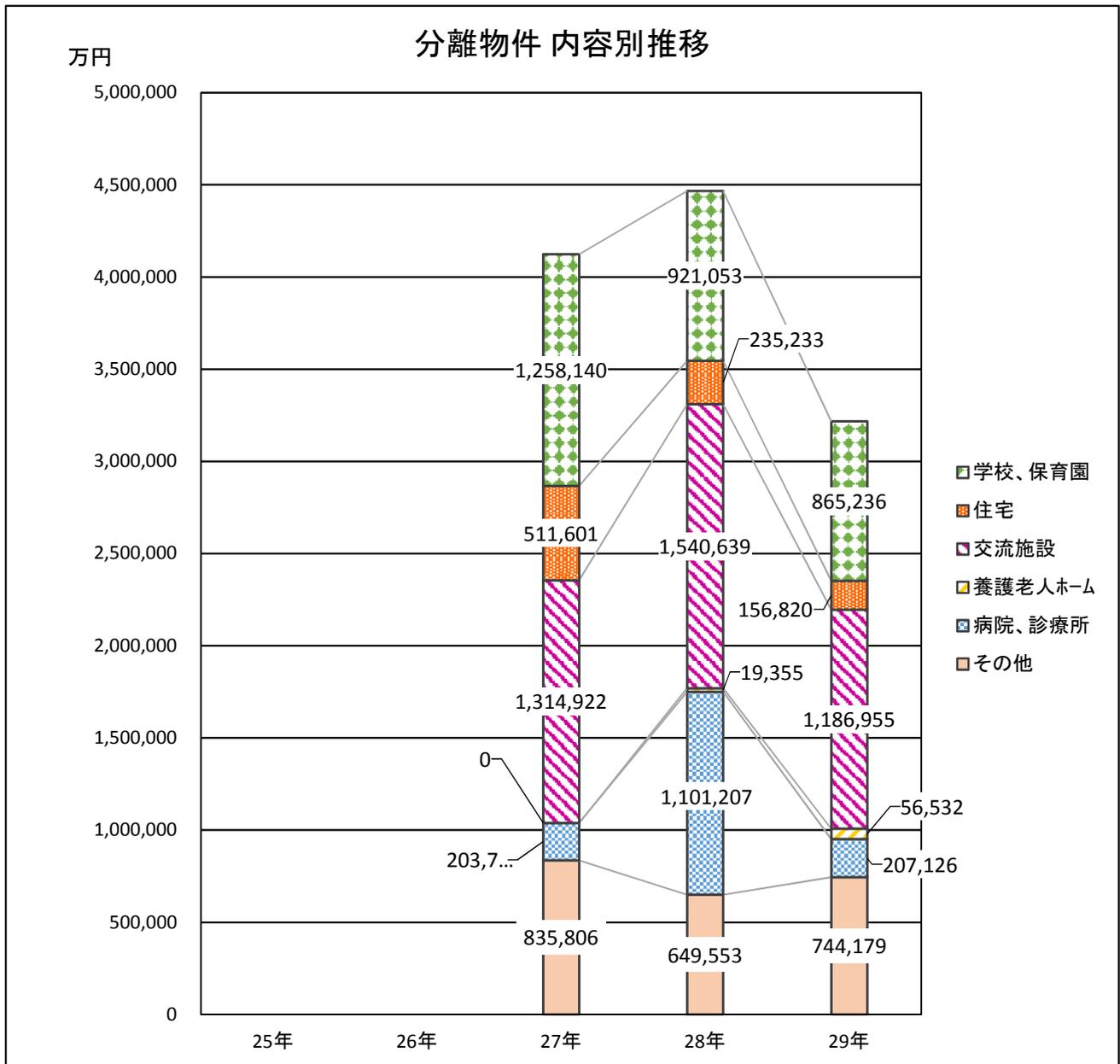
9) 平成27年～平成29年 分離物件 内容別推移 【件数】

物件内容	25年		26年		27年		28年		29年	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率
学校、保育園					143	25.4%	164	20.7%	165	27.0%
住宅					51	18.1%	53	17.0%	36	11.0%
交流施設					127	27.2%	154	27.2%	202	34.5%
養護老人ホーム					0	3.5%	5	14.3%	5	6.6%
病院、診療所					15	1.2%	21	3.7%	25	1.9%
その他					89	24.6%	78	17.0%	88	19.1%
計					425	100.0%	475	100.0%	521	100.0%



平成27年～平成29年 分離物件 内容別推移 【金額】

物件内容	25年		26年		27年		28年		29年	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率
学校、保育園					1,258,140	30.5%	921,053	20.6%	865,236	26.9%
住宅					511,601	12.4%	235,233	5.3%	156,820	4.9%
交流施設					1,314,922	31.9%	1,540,639	34.5%	1,186,955	36.9%
養護老人ホーム					0	0.0%	19,355	0.4%	56,532	1.8%
病院、診療所					203,716	4.9%	1,101,207	24.7%	207,126	6.4%
その他					835,806	20.3%	649,553	14.5%	744,179	23.1%
計					4,124,185	100.0%	4,467,040	100.0%	3,216,847	100.0%



## 10) 傾向及び総括

### 傾 向

1. H28 年度と比較して分離発注比率は横ばいの状況である。(全体 62%→62%) 【page3 参照】  
→ 前年を下回るのは秋田県(69%→67%)、岩手県(68%→53%)、山形県(63%→62%)  
中央(70%→67%)  
しかし、件数は H28 年度より全体で≒1 割増。下回ったのは岩手県(50 件→49 件)、  
宮城県(119 件→116 件)
2. 分離及び一括合計の件数は H27 年度、H28 年度と比較すると≒1 割増の状況である。  
【page3 参照】  
→ H27 年度・・・767 件、H28 年度・・・769 件 → H29 年度・・・840 件
3. 発注金額の推移であるが、ここ 3 年間を比較すると、分離・一括共に低下傾向にある。  
【page3 参照】  
→ 【分離】 H28 年度比・・・72% 、 【一括】 H28 年度比・・・88%
4. 大型案件数が、H28 年度と比較して分離・一括共に減少している。【page14 及び 12 参照】  
→10 億円以上の案件 【分離】 5 件→0 件、【一括】 31 件→22 件
5. 分離・一括工事共、交流施設の物件数は増加傾向だが、住宅の物件数は減少している。  
【page18 及び 16 参照】

## 総括

H29 年度において、元データである東北ジャーナル誌掲載物件の分類で、物件が小額化している点と工事名称等から定義しにくい物件が多かった点が、感想として挙げられる。結果として、以下の分析にその傾向が見られる。

H29 年度、分離発注物件の 1 件当り平均金額については、6,174 万であった。H28 年度は大型病院案件があり、金額総計が高額となったことで 1 件当り平均金額は 9,404 万となっており、単純に比較すると著しく減少している結果となる。よって、大型病院案件を除いた金額で比較するため、再度算出すると 1 件当りの平均金額は≒8,200 万となる。H29 年度はこの金額と比較しても、大きく減少している状況であることから、今後の動向が懸念される。(因みに H27 年度 1 件当り平均金額は、9,704 万)

物件比較でみると、学校関連や交流施設において小口の改修工事比率が高いことが特徴として挙げられる故に件数は多いものの、金額ボリュームにリンクしてしないことの一因と思われる。

また、復興住宅をはじめとした震災復興等関連事業は、福島県を除きほぼ完了したとみられる。

今回より、一括及び分離案件双方の金額に関するデータを添付し、件数変移に加えた分析も行った。件数だけでは表れてこない発注状況が、より顕著に見ることができた。来年度も引き続き実施し、傾向分析をすすめていく。